

偉人が語った
至上の表現

死 の 言葉

佐藤優

“真命”死を見つめる”からこそ
後悔のない毎日が迎えられる！

死とは人間にとって
最も幸福なものかもしれない。
しかし、それを知っている人はいない
ソクラテス



死なない人はいない！
だからこそ、死と向き合い生をきらめかす

2024年3月新刊

死の言葉

偉人が語った至上の表現

どんなに健康な生活をおくっていても、誰にでも死は訪れます。人類は哲学、宗教、科学、歴史、美術など様々な面から死について考え続けているといっても過言ではありません。本書では全人類に共通する「死」について、「知の巨人」佐藤優が歴史に残っている偉人たちの言葉をピックアップし、死生観と、そこから生まれた文化について語ります。

※仮画像



【掲載偉人(予定)】

ソクラテス / ニーチェ / ゴッホ / 鴨長明 / 孔子 / 一休 / ヨハネ / ドストエフスキー / 空海 / マザー・テレサ / 正岡子規 / ジャン・ジャック・ルソー / 吉田松陰 / 亀井勝一郎 / 森鷗外 / 手塚治虫 / ジョン・レノン / 矢吹丈 / パウロ / 毛沢東 / ブルース・リー / 池田大作 など

ターゲット
生き方に不安を抱える50代後半～60代前半。
コロナや世界紛争など社会状況に不安を抱える層。佐藤優ファン、名言好き。

歴史上の偉人が遺した死にまつわる言葉を選び、1つの言葉について6ページ前後で内容について語っていく「読みもの」になっています。
はじめに大きく「死について語られた言葉」を示します。



【著者】佐藤優(さとうまさる)

1960年、東京都生まれ。作家、元外務省主任分析官。1985年に同志社大学大学院神学研究科修了後、外務省に入省。在英国日本国大使館、在ロシア連邦日本国大使館に勤務。その後、本省国際情報局分析第一課で、主任分析官として対ロシア外交の最前線で活躍。2002年、背任と偽計業務妨害容疑で逮捕、起訴され、2009年6月に執行猶予付き有罪確定。2013年6月、執行猶予期間を満了し、刑の言い渡しが効力を失った。『国家の罫 外務省のラスプーチンと呼ばれて』(新潮社)で第59回毎日出版文化賞特別賞受賞。『自壊する帝国』(新潮社)で新潮ドキュメント賞、大宅壮一ノンフィクション賞受賞。『読書の技法』(東洋経済新報社)、『勉強法 教養講座「情報分析とは何か」』(KADOKAWA)、『危機の正体 コロナ時代を生き抜く技法』(朝日新聞出版)など、多数の著書がある。

2024年2月7日受注締切 / 3月18日搬入予定

書店番線印

新刊委託

死の言葉

著者: 佐藤優

ISBN: 978-4-405-10820-2 定価: 1,400円+税 1C 192P 四六判

ご担当

冊

様



新星出版社

営業担当:

〒110-0016 東京都台東区台東2-24-10
TEL: 03-3831-0743(代)

ご注文は
営業本部FAXまで

03-3831-0758 (fax)

2023.12.14作成 ①